



ご挨拶

院長 西村康明



本院では、昨年秋より、家庭の都合、結婚に伴う転居、帰郷、専門診療志向での他施設への異動など諸事情で、中堅前後のスタッフが多数抜け、その診療体制での混乱が大いに不安視される中、この春を迎えました。ベテラン・新人・多数の新戦力が加わり4ヶ月を経た現在、従来スタッフの頑張り、本院リハビリ部門からの応援、段階的な退職、有能なベテラン・新人達の努力と周囲からの熱のこもった指導による成長、暖かい皆様方のご支援で、無事、この難局を乗り越えた感があり、胸を撫で下ろしているところです。まず、当院診療の中心をなす回復期リハビリ病院として、入院患者さんには、通常通りの診療が行えて来たかと思います。また、外来患者さんでは、退院直後の社会復帰を目指した回復期・継続リハビリは必要とされる範囲で成し得、今後も継続（診療報酬改正に合わせて3ヶ月間）して行く予定です。唯、その後の維持期リハビリは、ご希望に沿えぬ状況となっています。ご希望の患者さんには当院事情を説明し、他施設へ紹介、当該施設にもご協力頂き、継続診療頂いているかと存じます。

本紙面をお借りし、改めて、患者さんや他施設の先生方を始めご協力頂いた多数の皆様方に、心より感謝申し上げます。

さて、日進月歩、医療界の進歩は、多方面で予期せぬスピードで進んでいます。成田記念病院・明陽会でも、この4月より、旧本院跡地に、癌に対する治療・手術に代わる侵襲僅かな放射線治療・陽子線センターが開設され、現在、その対象となる疾患の一つ、前立腺がん患者さんの前治療・ホルモン療法が始まり、10月からは陽子線照射が開始される予定です。当院も7月より、リハビリ支援システムとしてロボット機器を導入し、新たに運用しています。このシステムは、重症脳卒中患者さんが、AIを用いて、より早い時期から立ち上がって歩行ができる、生活能力を回復する為の支援システムです。セラピストは、従来からの知識と技術を駆使してこのロボットを活用し、患者さんの能力開発に取り組んでいます。例えば、このロボットを動かすことは、F1自動車をオートマチックではなくクラッチ操作で運転することであり、各ドライバーには幅広い知識と高度なテクニックが要求され、セラピストは、わくわく感を持ってこのシステムに取り組み、各患者さんの回復を図っています。

当院モットー“「人としての尊厳」の保持、「主体性・自己決定権」の尊重、「地域リハビリテーションの推進」”を第一に、新時代に即して、地域医療の向上に貢献するよう努めてまいります。ご支援のほど、宜しく願い申し上げます。

新入職者紹介

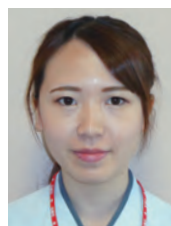


永田 雄紀
事務

この度、ご縁を頂き3月に入職いたしました。

前職では、医療機器・医療材料を取り扱う仕事をしておりました。

一日でも早く仕事を覚え、貢献できますよう努めてまいりますので宜しくお願い致します。



藤岡 茉耶
社会福祉士

5月に入職し、前職は大学病院で3年間ソーシャルワーカーとして働いてきました。日々患者様の回復を目の当たりにし、一日も早く私自身もそのお手伝いができるよう頑張りたいと思います。



杉浦美和子
看護師

4月にこちらに入職しました。今までは、老人保健施設・療養型の病院に勤務しておりました。今までの経験で活かせることは活かし、新しく関わる分野を勉強していきたいです。よろしくお願いします。



芝田 有希
看護師

5月から看護師として入職しました。まだまだ分からないことばかりで戸惑う日々ですが、諸先輩方の大きな背中を見て成長していこうと思います。笑顔忘れずに頑張ります！



坂本 晴花
看護師

急性期から来ました。回復期は初めてのことで毎日がとても新鮮です。

はやく先輩方のような素敵な看護師になれるように頑張ります。よろしくお願いします。



渡邊美沙子
准看護師

回復期リハビリテーション病院ならではの、多職種の専門性を学びながら、チームワークを大切にしつつ、何事にも積極的に取り組む努力をしていきます。また、笑顔を絶やさないよう心掛けた看護を提供していきたいと思っています。



早川 大貴
介護福祉士

早川大貴です。体を動かすことが好きです。一所懸命頑張りますのでこれからよろしくお願いします。



今泉 一也
介護福祉士

今年4月に第二成田記念病院に奉職いたしました。6年余りの介護の経験はありますが、病院は初めてです。患者様が安心・安楽な入院生活が送れるよう、微力ながらお手伝いしたいと思います。



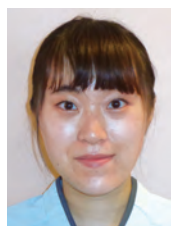
今泉 翔太
理学療法士

慣れない環境で分からないことばかりですが、患者様と向き合い積極的に取り組んでいきたいです。また、患者様にできることを常に考えてきたいと思っています。先輩方に追いつけるよう頑張りますので、よろしくお願いします。



大西 将平
理学療法士

4月に入職し、初めての環境・業務で慣れないことや戸惑うことが多くありますが、スタッフとしての自覚を持ち、周りの方々を見習いながら少しずつ成長していけるよう、自分なりに努力していきたいと思っています。



藤田 朝
理学療法士

今年から第二成田記念病院に入職しました、理学療法士の藤田朝です。名前はそのまま「あさ」と読みます。名前は「朝」ですが、朝に生まれたわけではありません！

これから頑張りますのでご指導よろしくお願いします。



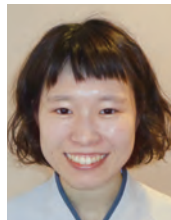
水谷 俊喬
理学療法士

4月に入職しました4階Dチーム理学療法士の水谷俊喬です。まだまだ分からないことが多く皆様にご迷惑をおかけすると思いますが、患者様のため、第二成田のために精一杯頑張っていきます！よろしくお願いします！！



平井 達也
理学療法士

今年から第二成田記念病院に入職しました、理学療法士の平井達也です。育ちは田原市ですが、大学生のときは京都に住んでいました。大学を卒業してから理学療法の専門学校に入学したので今年で26歳になります。これから頑張ります。よろしくお願いします。



柴田 朋子
理学療法士

4月から社会人となりましたが、まだまだ不安なことだらけです。実際に臨床に出てみると、初めて知ることや戸惑うことがとても多いです。一つ一つのことに責任を持って行動し、患者様やご家族の笑顔のために日々努力を積み重ねていきたいです。



金子盛司郎
理学療法士

勤務1年目ということで、わからないことだらけではありますが、理学療法をはじめ、その他の業務に対して失敗を恐れず前向きにチャレンジしていきたいと思っています。



安藤 孝輝
理学療法士

はじめまして。今年4月から第二成田記念病院の職員として働かせていただきます。理学療法士の安藤孝輝です。出身は豊橋市、特技はバスケットボールです。まだまだ慣れないことばかりでご迷惑かけるとは思いますが、自分なりに頑張ります。よろしくお願いします。



小林 佑衣
作業療法士

4月に入職してまだ慣れないことや戸惑うことが多くありますが、スタッフの一員としての自覚を持ち、先輩方を見習いながら日々努力していきたいと思っています。よろしくお願いします。



田中 里奈
作業療法士

まだ慣れないことが多いですが、日々の仕事の中で様々なことを学び、広い視野をもち行動できるように努力していきます。そして思いやりの気持ちを忘れずに患者様と関わっていききたいと思っています。よろしくお願いします。

夏至の由来について

夏至の由来についてですが、名称自体は二十四節気にじゅうし せっきの中の一つです。二十四節気とは、1太陽年を日数、あるいは太陽の黄道上の視位置によって24等分し、その分割点を含む日に季節を付した物です。他に冬至、秋分、春分、等あります。

そもそも夏至は、お米の田植えに関係がありました。現在は、4月から5月が田植えの時期ですが、昭和30年代頃までは、6月後半が一般的だったんです。その理由としては、稲の冷害や水の確保という問題があったためとされています。なので、夏至が終わってから11日後の「半夏生」はんげしょうと呼ばれる日までが田植えの最盛期でした。なので、夏至あたりは田植えの時期で忙しくて、お祭りをしたり何か食べ物を作ってお供えしたりということが出来なかったんです。だから夏至の方が、冬至に比べて何かと知名度が低くなってしまったのです。

しかし、夏至から半夏生の間に田植えが終わったと

ころは、終わり次第に地方ごとに決まった食べ物や行事やお祭りをしたりする風習があったのですね。例えば、京都の和菓子・大阪のタコ・香川の半夏生うどんなどがあるそうです。

夏至にちなんだ食べ物やお祭りというのは、こういった夏至の由来から来ていたのです。なんとも奥深いですね。

当院では6月21日に下記のような和菓子を患者様に提供しました。季節を感じていただけましたでしょうか？



避難訓練

6月22日に院内火災を想定した避難訓練が実施されました。

病院は特定防火対象物となっており、年2回以上の消火・避難訓練の実施が義務付けられています。

今回、初期消火・避難誘導の訓練を行いました。エアストレッチャーや車椅子を使い、上の階からの移送訓練も行いました。誘導の大変さを実感する良い機会となりました。

訓練の最後には、水消火器を使った消火訓練も行いました。

普段なかなか使う機会のない消火器ですので、取扱い方を覚え緊急時には即座に対応できるようにしていきたいと思います。

今回の反省等を踏まえ、いつ災害が起きても迅速に対応できるように、努めていきたいと思っています。

防災対策部会



編集後記



蝉時雨の音が盛んに聞こえる季節になりました。本年度は、夏号、新春号と2回の発刊を予定しておりますので、この夏号は、春から夏にかけての記事を掲載しました。

院長先生からは第二成田のロボット導入を含め未来への熱いメッセージを頂きました。それを受けるように新人は未来への展望を語っています。回復期も今やAIの導入に踏み切りステップアップしようとしています。そこに「人」の熱い思いと、技術をプラスして職員一同日本一の回復期を目指そうと、蝉時雨に負けない思いでおります。

発刊にあたり協力頂いた皆さんありがとうございました。

看護介護部長 内田ひとみ

病院基本理念

「人としての尊厳」と「自分らしさ」を根源に、
住み慣れた土地での生き生きとした暮らしへの復帰を支援します。



社会医療法人 明陽会

第二成田記念病院

〒440-0855 豊橋市東小池町62-1 TEL. (0532) 51-5666
<http://www.meiyokai.or.jp/narita2/> FAX. (0532) 55-0660